



「噴火の音」って、どんな音？

ゴゴゴゴと地響きが鳴り

ドッカーン!!! と噴煙が上がる…？



噴火は、「大きな音」というイメージがありませんか？

今年1月23日、^{くさつもとしらねさん}草津本白根山（群馬県）で噴火が発生しました。現場に居合わせた人は「ドーンという感じ」「ぼーぼー変な音がする」「ボコボコと地面から音がした」と言い、私達の想像とは少し違う、様々な音を耳にしたようです。そしてそれが噴火によるものだと気づく前に、噴煙や噴石の落下に巻き込まれ、犠牲者が出てしまいました。

もしも噴火の前兆として、地響きなどの大きな音が鳴り、周囲にいる人が噴火だと察することができれば、ここまでの被害は出なかったかもしれません。しかし実際は、噴火の前に大きな音が鳴ることは少なく、現段階では音による噴火の予測は不可能です。

2000年の有珠山噴火の際も、周囲に鳴り響くような大きな音はせず、多くの人々が「気が付いたら噴煙が上がっていた」と言います。

2000年の有珠山噴火から、まもなく18年が経過します。

活火山が身近にあることを意識し、テレビやラジオ、携帯電話などで通知される緊急放送には注意して、異変が起きた時に冷静な判断ができるよう、心がけたいですね。



写真：2000年3月の有珠山噴火（洞爺湖町より撮影）

ジオパークとは、大地の成り立ちと、自然、人間とのつながりを楽しく学ぶことができる地域のこと。洞爺湖有珠山ジオパークは『変動する大地との共生』をテーマにした、伊達市・豊浦町・壮瞥町・洞爺湖町の4つの市町で構成されるジオパークです。国内には「ユネスコ世界ジオパーク（国際認定）」が8地域、「日本ジオパーク（国内認定）」が43地域あります。